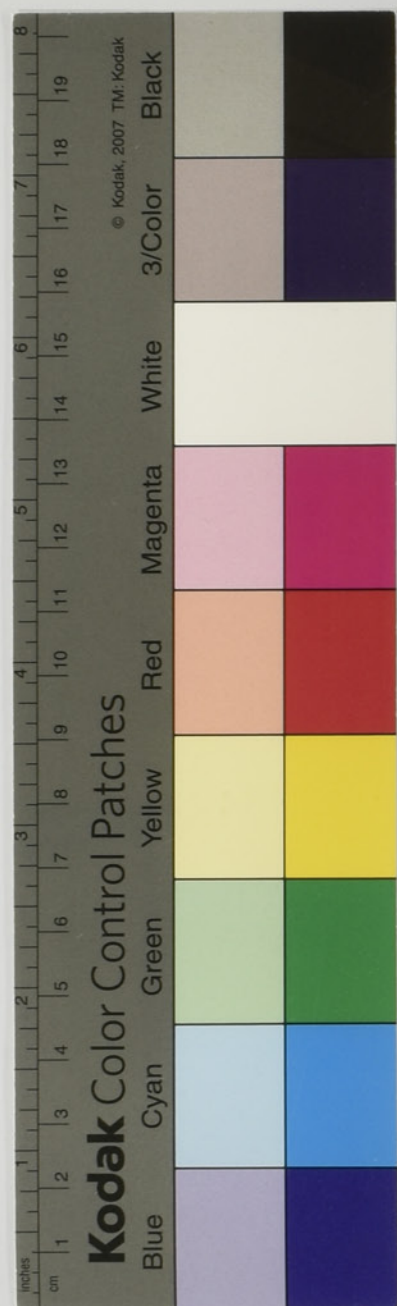
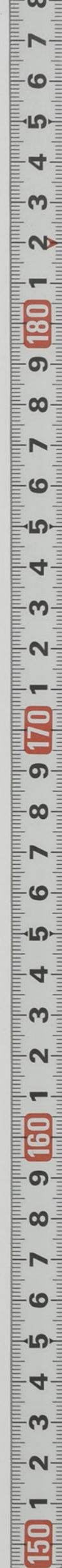


【大谷家文書】 4-44



公思奉再預以之元

一先達者預也上通以 御機政事
如求いふ船南春石別殿に被換仕の月
御被上は如以 御意地右に船機機
お換は為 御意地右に船機機
御用お勤能は仕合を以て口又無及於
大坂表大船を被お換は為御用也 御
是より下は預い候大坂に候御目力
能お叶出はれぬ先達者御預也上通以
南御軍に白石洋信は 御意地右に
御定に通入る御目力今年より今年より
白石宛通上は任の一万一兩上納不始は為
我も出はれぬ先達者御預也上通以
富貴地御上納上は任又市に思多
御預も好はれぬ先達者御預也上通以
御目力今年より今年より白石宛通上は
御意地右に船機機に 御意地右に
御意地右に船機機に 御意地右に
御意地右に船機機に 御意地右に
御意地右に船機機に 御意地右に

大谷九郎

寛政三年亥十月

御意地所